

令和5年度

事業報告

社会福祉法人 緑会

緑 会 理 念

- | | |
|-----|------------------------|
| 仁 愛 | 家族に身になって病める人の心を大切にする |
| 信 頼 | 信頼されるに足る知識と技術を持つよう努力する |
| 貢 献 | 医療・保健・福祉を通じて地域社会に貢献する |

令和5年度テーマ

『利用者の能力を引出し、支える』

基 本 方 針

利用者や家族が、より良く安心して暮らせるために、私たち専門職が寄り添い支えることが大切になります。利用者本人の活動能力（基本能力）を「見える化（数値化）」し、個々に対応したサービスを提供する事で、活動能力の維持改善が図られより良い暮らしにつながります。その為に職員一人一人が資質を向上させ、きめ細やかな技術やサービスを提供し、その人に合わせた支援ができるよう取組みます。

重 点 目 標

- 1 「筋力を落とさない」
 - ・基本能力を測定、見える化し、訓練や運動に取り組むことで、日常生活の改善を図る
 - ・低栄養の改選と口腔、嚥下機能のリハビリを行う
- 2 認知症・障がいを持つ方への対応
 - ・ユマニチュード（その人らしさ）によるケアの推進
 - ・認知症や障がいがあっても、穏やかに暮らせるよう支える
- 3 利用者支援のための職員の資質向上と連携を強化する
 - ・職員の資質向上のための情報収集や研修で学んだことを共有し、支援に活用する
 - ・利用者一人一人に合った支援のために職員が連携し、対応できるようにする

実 施 策

1 「筋力を落とさない」ためのサービスの提供

高齢者が要介護状態になる要因は、サルコペニア（加齢による筋力低下症）から、ロコモティブシンδροーム（移動機能の低下）となり、フレイル（身体的・精神的・社会的衰弱）状態になることが考えられる。

その予防のためには、運動はもちろん、栄養状態も確認しながら、能力を測定し、評価することで、次のステップを定めて、本人や家族、支援する職員が同じ方向に向き課題を実践できるよう働きかけることが大切である。

2 認知症・障がいを持つ方への対応

高齢の方は加齢に伴う身体の変化だけでなく、認知症による日常生活に支障が出てくることもある。また障がいを持つことでも同じように支障が出てくるが、家族や周りの支えだけでは対応が難しい状況において、専門職の関りやサービスを提供することで、日常生活を継続することができるようになる。

認知症や障がいがある方の思いを受け止め、寄り添い、支えられるよう知識を学び、活かして、その人らしさを尊重し、支援できるよう検討しサービスを提供する。

3 利用者支援のための職員の資質向上と連携強化

職員一人ひとりが利用者を観察し、持っている能力を活かせるように、その人に合ったサービス提供を考え共有することで、利用者支援の充実につながる。

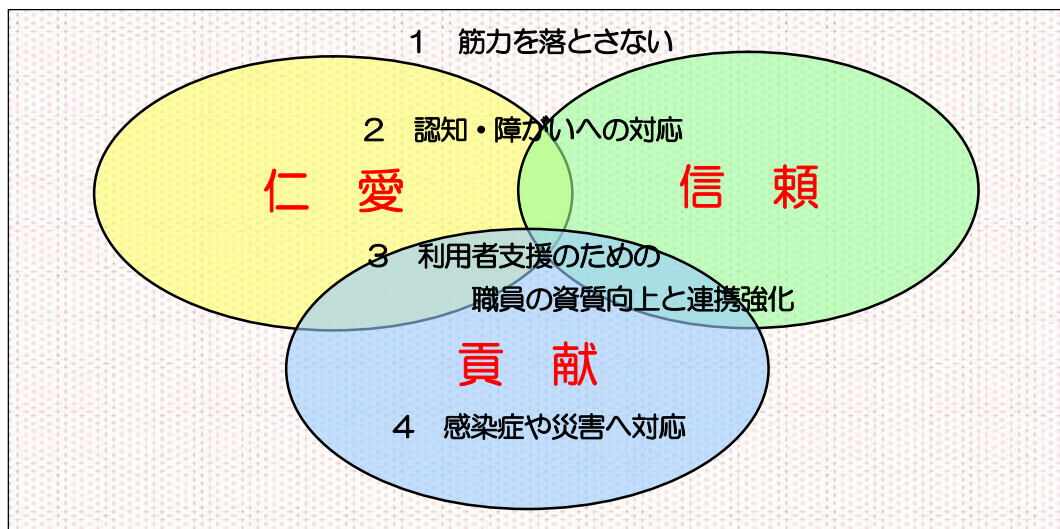
そのために、専門職としての知識や研修などで学んだことを実際に現場いで活かすよう職員間で連携しながら統一的に支援することが重要となる。

日頃から、職員間でのコミュニケーションを大切にしながら、お互いの気づきを共有し、補いながら全体の資質向上につなげることが大切となる。

4 感染症や災害への対応力強化

いつ起こるか分からない感染症や災害は、法人だけの問題ではなく、地域社会において大きな影響を与えます。それに対応するためには、日頃からの対策を関係機関と連携しながら、計画的に訓練や研修を行ったり、地域の人たちとつながりを持ったり、顔の見える関係づくりを構築していく事が大切です。BCP（事業継続計画）に基づき、どんな時でも安全・安心に生活が継続できるよう、準備する必要がある。

事業実施図（令和5年度）



1 法人の行う事業（令和6年3月31日現在）

(1) 第1種社会福祉事業

《施設の種類の種類》 特別養護老人ホーム
(指定介護老人福祉施設)
《名称》 介護老人福祉施設 千寿苑
《施設長名》 北山 達朗
《利用定員》 98名

(2) 第2種社会福祉事業

《施設の種類の種類》 老人短期入所事業
(指定短期入所生活介護・指定介護予防短期入所生活介護)

《名称》 介護老人福祉施設 千寿苑
《管理者名》 北山 達朗
《利用定員》 2名

《施設の種類の種類》 老人デイサービス事業
(指定通所介護、七尾市介護予防・日常生活支援総合事業(国基準通所型サービス))

《名称》 デイサービスセンター せんじゅ
《管理者名》 北山 達朗
《利用定員》 25名

《施設の種類の種類》 老人デイサービス事業
(指定通所介護、七尾市介護予防・日常生活支援総合事業(国基準通所型サービス))

《名称》 デイサービスセンター なでしこ
《管理者名》 北山 達朗
《利用定員》 25名

《施設の種類の種類》 認知症対応型老人共同生活介護事業
(指定認知症対応型共同生活介護・指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

《名称》 グループホーム やくしの里
《管理者名》 石垣 初江
《利用定員》 9名

《施設の種類の種類》 小規模多機能型居宅介護事業
(指定小規模多機能型居宅介護・指定介護予防小規模多機能型居宅介護)

《名称》 小規模多機能型居宅介護施設 たかしなの里
《管理者名》 白山 千亜希
《利用定員》 25名（内通いサービス15人、泊りサービス9人）

(3) 公益を目的とする事業

《事業名称》 外国人技能実習生受入事業

(4) 収益を目的とする事業

《事業名称》 給食受託事業

2 職 員 数 (令和6年3月31日現在)

☆総職員数 133人 (男性 30人、女性 103人)

職員平均年齢 50.6歳 平均在職年数 8年7ヶ月

a. 入所・短期入所

総数 81人 (嘱託医含まず)

正職員 37人、嘱託職員 3人、臨時職員 12人、パートタイム職員 22人、外国人技能実習生 7人

《内 訳》

施設統括局長 1人 (非常勤嘱託)	施設長 1人 (常勤兼務)
副施設長 1人 (常勤兼務)	事務長 1人 (常勤兼務)
事務員 2人 (常勤)	生活相談員 1人 (常勤)
介護支援専門員 1人 (常勤)	医師 1人 (嘱託)
機能訓練指導員 1人 (常勤)	管理栄養士 4人 (常勤3、パート1)
栄養士 1人 (常勤)	調理員 12人 (常勤4、パート8)
宿直員 3人 (パート)	看護職員 8人 (常勤5、パート3)
介護職員 44人 (常勤29、パート8、外国人技能実習生7)	

※資格保有者数 : 看護師 7人、准看護師 1人、介護福祉士 32人、社会福祉士 3人
(重複所有あり) ホームヘルパー2級・介護初任者研修 10人、介護支援専門員 8人

b. デイサービス (せんじゅ・なでしこ)

総数 29人

(正職員 13人、臨時・嘱託職員 4人、パートタイム職員 12人、委託 (シルバー人材センター運転手)

《内 訳》

管理長 1人 (入所施設長常勤兼務)	生活相談員 4人 (常勤2、常勤兼務2)
作業療法士 1名 (常勤)	管理栄養士 1人 (入所管理栄養士常勤兼務)
看護職員 8人 (常勤4、パート4)	介護職員 18人 (常勤10、パート8)

※資格保有者数 : 看護師 7人、准看護師 1人、作業療法士 1名、介護支援専門員 4人、
(重複所有あり) 社会福祉主事任用 3人、介護福祉士 11人、
ホームヘルパー2級・介護初任者研修・介護職員実践者研修 4人

c. グループホーム

総数 7人 (正職員 3人、臨時職員 3人)

《内 訳》

管理者 1人 (常勤兼務)	看護職員 1人 (常勤・介護職員兼務)
介護職員 6人 (常勤・管理者兼務含)	計画作成担当者 1人 (管理者兼務)

※資格保有者数 : 准看護師 1人、介護福祉士 3人、介護支援専門員 2人、
(重複所有あり) ホームヘルパー2級・介護職員初任者研修・介護職員実践者研修 1人

d. 小規模多機能型居宅介護

総数 16人 (正職員 2人、臨時・嘱託職員 7人、パートタイム職員 8人)

《内 訳》

管理者 1人 (常勤兼務)	看護職員 6人 (常勤1、パート5)
介護支援専門員 1人 (常勤管理者兼務)	介護職員 9人 (常勤7、パート2)

※資格保有者数 : 介護支援専門員 2人、看護師 3人、准看護師 3人、介護福祉士 2人
(重複所有あり) ホームヘルパー2級・介護職員初任者研修・介護職員実践者研修 6人

3 役員状況（令和6年3月31日現在）

(1) 定款上の定数

理事 6名以上10名以内 監事 2名 評議員 7名以上11名以内

(2) 役員等氏名

理事 6人（任期：令和5年6月10日から令和6年度の最終の評議員会の終了まで）

圓山	寛人(理事長)	圓山	恵子
八野田	実	生實	正
北山	達朗	堀	和彦

監事 2人（任期：令和5年6月10日から令和6年度の最終の評議員会の終了まで）

森	光弘	林	敏治
---	----	---	----

評議員 7人（任期：令和6年6月10日から令和9年度の最終の評議員会の終了まで）

櫻井	定宗	堀岡	俊子	松下	一清
林	繁壽	稲田	ソト子	宮崎	吉春
登美	和秀				

4 理事会・評議員会

《 理 事 会 》

第1回理事会

日 時	令和5年5月26日(木)	午後6時27分～午後7時40分
場 所	介護老人福祉施設千寿苑 地域交流ホール	
出席者数	理事6人	監事2人
議 件	議案第1号 令和4年度事業報告 議案第2号 令和4年度収支決算報告及び監査報告 議案第3号 令和5年度収支補正予算(案) 議案第4号 現任理事・監事の任期満了に伴う定例評議員会で審議する 新理事・新監事の推薦について 議案第5号 現任評議員辞任に伴う社会福祉法人緑会評議員選任・解任委員会で 審議する新評議員の推薦について 議案第6号 令和4年度に係る定例評議員会の開催日時等(案)について 報告第1号 エレベーター修繕工事について 報告第2号 理事長の業務執行状況について 1 事業運営上生じた重要事項等の報告 ① 資金運用規程に基づく運用状況定期報告 2 その他 そ の 他	

第2回理事会

日 時	令和5年6月9日(木)	午後7時45分から午後8時5分
場 所	番伊 会議室	
出席者数	理事4人(欠席2人)	監事2人(欠席1人)
議 件	議案第1号 理事長の選任について	

第3回理事会

日 時	令和5年10月5日(木) 午後6時29分～午後7時24分
場 所	介護老人福祉施設千寿苑 地域交流ホール
出席者数	理事5人(欠席1人) 監事1人(欠席1人)
議 件	議案第1号 定款の改正(案)について 議案第2号 令和5年度第2次収支補正予算(案)について 議案第3号 現任監事の辞任申し出に伴う評議員会で審議する新監事の推薦並びに評議員選任・解任委員会の委員の選任について 議案第4号 現任評議員の辞任申し出に伴う社会福祉法人緑会評議員選任・解任委員会で審議する新評議員の推薦について 議案第5号 令和5年度第2回評議員会の開催日時等(案)について 議案第6号 第7回社会福祉法人緑会評議員選任・解任委員会の開催日時等(案)について 報告第1号 理事長の業務執行状況について 1 事業運営上生じた重要事項等の報告 ①石川県物価高騰対策支援事業及び七尾市介護保険事業所・障害福祉事業所等応援金について ②令和5年度4月から8月の収支予算執行状況報告 ③資金運用規程に基づく運用状況定期報告 ④科目間振替報告 ⑤やくしの里・たかしなの里に導入する非常用発電機について 2 その他 そ の 他

第4回理事会

日 時	令和6年3月23日(木) 午後6時24分～午後7時50分
場 所	介護老人福祉施設千寿苑 会議室
出席者数	理事5人(欠席1人) 監事1人(欠席1人)
議 件	議案第1号 就業規則改正(案)について 議案第2号 給与規程改正(案)について 議案第3号 令和5年収支補正予算(案)について 議案第4号 令和6年度事業計画(案)について 議案第5号 令和6年度事業収支予算(案)について 議案第6号 令和6年能登半島地震による冷暖房チラーユニット破損に対する交換及び配置換え工事に係る随意契約の締結について 報告第1号 エレベーター修繕工事完了報告 報告第2号 理事長の業務執行状況について 1 事業運営上生じた重要事項 (1) 資金運用規程に基づく運用状況定期報告 (2) 予備費使用及び科目間振替報告 2 その他 (1) 外国人技能実習生について (2) 令和6年能登半島地震の被災状況並びに今後の対応について そ の 他

《 評 議 員 会 》

第 1 回評議員会

日 時 令和 5 年 6 月 9 日 (木) 午後 6 時 00 分から午後 6 時 56 分
場 所 番伊 会議室
出席者数 評議員 7 人、理事 4 人、監事 1 人
議 件 議案第 1 号 令和 4 年度事業報告
議案第 2 号 令和 4 年度収支報告及び監事監査報告
議案第 3 号 現任理事、監事の任期満了に伴う新理事・監事の選任について
報告第 1 号 現任評議員辞任に伴う社会福祉法人緑会評議員選任・解任委員会で
審議した新評議員の選任について
そ の 他

第 2 回評議員会

日 時 令和 5 年 10 月 19 日 (木) 午後 6 時 22 分～午後 6 時 46 分
場 所 介護老人福祉施設千寿苑 地域交流ホール
出席者数 評議員 6 人 (欠席 1 人)、理事 5 人、監事 1 人
議 件 議案第 1 号 定款の変更 (案) について
議案第 2 号 現任監事の辞任申し出に伴う新監事の選任について
報告第 1 号 現任評議員の辞任申し出に伴う社会福祉法人緑会評議員選任・解任委
員会で審議した新評議員の選任について
そ の 他

《評議員選任・解任委員会》

第 5 回評議員選任・解任委員会

日 時 令和 5 年 10 月 12 日 (水) 午前 9 時 54 分～午前 10 時 01 分
場 所 介護老人福祉施設千寿苑 会議室
出席者数 外部委員 1 人 監事 1 人 事務局 1 人 理事会 1 人
議 件 議案第 1 号 現任評議員辞任の申し出に伴う新評議員の選任について

5 監査

令和4年度決算監査

日 時 令和5年5月18日(木) 午後2時00分~午後4時00分

場 所 千寿苑 会議室

出席者数 監事2人

監査結果 (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

6 令和5年度法人運営の概要

1 「筋力を落とさない」ためのサービスの提供

各部署において、年間計画を立て、期間を決めて測定し、それをデータとして見える化することで、支援する職員や本人が状態を把握でき、継続することができた。

また、それを家族やケアマネとも共有して状態を把握できるように行った。

その上で、体調等で継続が難しくなった利用者の方への対応について、事前に予測しておく必要があり検討する課題も見えてきた。

2 認知症・障がいを持つ方への対応

認知症や障がいのある方への対応として、特にユマニチュード（その人らしさ）によるケアを意識して取り組んだ。

内容としては、紙芝居、プランターによる花や野菜の栽培、イベント食の提供、イベントへの企画や参加、個々の意向を活かした活動などを実施することができた。

また、職員全体として常に意識できるよう施設内研修や勉強会などの機会をつくり一体的に利用者の方々と関わるように行った。

今後は、更なる支援の充実のための機会と評価を行い、質の向上を目指すことが課題となった。

3 利用者支援のための職員の資質向上と連携強化

個々が研修をとおして学んだことを、部署内で伝達したり、施設内での年間計画を作成し、テーマに沿って学んだりする機会を作った。

また、「眠りスキャン」の導入に伴い施設内でのITC活用をいかに有効に行うことができるかを、担当職員全体で対応できるようにした。

その中で、職員が日々取り組んでいることを事例として、改めて検討し評価や課題を整理して、東海北陸ブロック研修会で発表した。その事をおして、サービスの向上や情報発信、さらなる職員の資質向上と連携強化にもつながった。

今後も継続的に、各部署において工夫をしながら、資質向上と連携強化に取り組んでいくこととする。

4 感染症や災害への対応力強化

新型コロナウイルスの感染予防を継続しながら、感染症への対応の研修、感染症や災害時におけるBCP（事業継続計画）実施のための準備を行ってきた。

その中で1月1日の令和6年能登半島地震が起こり、当法人においても多大なる被害がありました。その状況において、備蓄品による食事提供、福祉避難所の開設、災害時における利用者支援、事業継続のための対応など、まさに実践をとおして学ぶ機会となりました。

この経験を次に活かすことができるよう、各自が感染症や災害への対応について、今後も継続して学んでいきます。

7 年度別法人事業毎の利用者実績数

1 千寿苑(介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)) ※平成24年3月21日より50名から80名へ増床、平成27年3月21日より80名から98名へ定員変更

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用延べ人数	30,550人	33,181人	30,421人	30,545人	29,634人	27,291人	30,393人	33,593人
稼働率	85.4%	92.8%	85.0%	85.1%	84.6%	76.3%	85.0%	93.7%

2 千寿苑(短期入所生活介護(ショートステイ)) ※平成24年3月21日より10名から20名へ増床、平成27年3月21日より20名から2名へ定員変更

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用延べ人数	2,496人	3,303人	3,562人	3,016人	2,375人	2,207人	2,238人	1,927人
稼働率	341.9%	452.5%	487.9%	412.0%	325.3%	302.3%	306.6%	263.3%

3 せんじゅ(通所介護(デイサービス)) ※平成14年10月1日開設 平成30年4月1日より30名から25名へ定員変更

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
営業日数	294日	294日	291日	294日	294日	296日	289日	278日
利用延べ人数	7,197人	6,480人	6,133人	6,344人	6,639人	6,380人	6,034人	5,507人
稼働率	80.6%	73.5%	84.3%	86.3%	91.1%	96.2%	83.5%	79.2%

4 なでしこ(通所介護(デイサービス)) ※平成24年3月21日開設 定員20名、平成25年8月1日より20名から30名へ定員変更、令和4年10月1日より30名から25名へ定員変更

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
営業日数	297日	307日	305日	308日	307日	309日	300日	291日
利用延べ人数	6,936人	7,356人	7,364人	7,267	6,272人	6,440人	6,156人	5,669人
稼働率	77.4%	79.9%	80.5%	78.6%	68.1%	69.5%	74.9%	77.95

5 やくしの里(認知症対応型共同生活介護(グループホーム)) ※平成19年4月1日開設 定員9名

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用延べ人数	3,265人	3,242人	3,243人	3,257	2,958人	3,268人	3,273人	3,294人
稼働率	99.4%	98.7%	98.7%	98.9%	90.0%	99.5%	99.6%	99.7%

6 たかしなの里(小規模多機能型居宅介護施設) ※平成25年7月1日開設 登録定員25名

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
月平均登録者数	21.7人	23.2人	22.8人	22.8人	23.8人	23.8人	21.9人	22.5人
登録率	86.7%	92.7%	91.2%	91.0%	95.0%	95.3%	87.7%	90.0%

8 各事業の報告

I 千寿苑（入所・短期入所）

令和5年度目標に対する自己評価

部署 介護老人福祉施設 千寿苑

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
I. 筋力を落とさない	<ul style="list-style-type: none"> 対象者（各階5名）を決め目標を立て、目標達成に向けた運動を実施する。 能力測定（握力などの身体状況、BMI、アルブミン値を4月、9月、3月に測定）を行う。 ※アルブミン値は医師の指示があった場合のみ実施。 カンファレンス時に専門職で話し合い、今後の関わりについて検討する。 (結果はケアプランに同封する) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 各階それぞれ5名ずつ対象者を決め、個人の目標に沿った運動メニューを設定し実施した。 運動メニューはほぼ毎日実施し、記録もできた。 身体状況や体調の変化で運動内容の変更、または中止した方もいた。 測定対象者のご家族様へ、3月分までの結果、まとめを4月のご家族への郵便物に同封して送付した。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施対象者の取り組みの継続が難しくなった時に、その方の筋力を落とさないために、他にどんな取り組みができるか検討する。

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

令和5年度目標に対する自己評価

部署 介護老人福祉施設 千寿苑

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
II. 利用者を楽しみのある生活を送っていただく	<ul style="list-style-type: none"> 4月に利用者の意向(外出支援、畑、作品作りなど)を確認し、ユマニチュードの四つの柱(「見る」「話す」「触れる」「立つ」)を意識して関わる。 個々の支援に活用するため、ツールを使用し、各専門職と話し合う。 	C	<ul style="list-style-type: none"> 職場の教養の音読と、ユマニチュード4つの柱の唱和は実施できた。 2階3階合同作品「紙芝居・おむすびころりん」を作成した。利用者様は主に色塗りに取り組んでいただいた。 個別の作品作りでは、一人の方の作品を仕上げることができた。 個人の意向に沿った外出支援を行えたが、職員の新型コロナウイルス感染による影響から実施できないこともあった。 ベランダでプランターを使用し、花や野菜を栽培した。育成から収穫まで実施・見学をした。収穫した野菜は栄養課に依頼し食事メニューとして提供してもらった。 カンファレンスでは「い〜とみる」を用いて、それぞれの職種からの視点で意見を交わした。 	<ul style="list-style-type: none"> ユマニチュードは唱和に留まらず、日々利用者様との関わりの中で、意識してケアに当たる。 今後も、カンファレンス時には「い〜とみる」を元に各職種で話し合う。

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価:A100点~90点、B89点~75点、C74点~60点、D60点以下)

令和5年度目標に対する自己評価

部署 介護老人福祉施設 千寿苑

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
III. 職員の資質向上と連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 実践形式の苑内研修を行った後、研修内容を理解できているかどうか、実際に行ってもらい、意見を伝える。(心肺蘇生、感染症、身体拘束など) 外部研修会に参加した場合は、学んだ内容を他職員に伝達、共有する研修を行う。 眠りスキャン導入目的を共有し、活用方法を理解する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、計画にそった苑内研修を実施した。 外部の研修に参加した職員による他職員に共有する研修をすることができた。 感染症対策のガウンテクニックや物品準備のシミュレーションを行った。 眠りスキャンのデータを用い、夜間の睡眠状況を観察し眠剤の調整を行った。看取りの方の身体状況もモニターから観察することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 年に一回、シミュレーションと机上訓練をしている。感染症が苑で発生した場合、訓練と同様の対応ができるように繰り返し訓練し、いざ有事の時には正しい行動に移すことができるようにしていく。 ・眠りスキャンを活用し、的確な状態把握と、利用者にも職員にも負担の少ないサービスを提供していく。

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

令和5年度 千寿苑入退所状況

【入所】

入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	1	1						1					4
女性	2	3	1	1	1		1	2	1		2		14
合計	3	4	1	1	1	1	1	3	1	0	2	0	18

【入所前所在地】 在宅： 8人 医療機関： 9人 その他施設： 1人

【退所】

退所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性		1		1			1			2			5
女性	1	1	1			2	2		1	5	1	1	15
合計	1	2	1	1		2	3		1	7	7	7	20

【平均年齢】 90.1 歳 (77 歳～ 101 歳)
【退所理由】 逝去： 19人 長期入院： 1人 その他： 0人
【平均在籍日数】 2年 10ヶ月 (最長 14年 2ヶ月、最短 0年 2ヶ月)

令和6年3月31日現在 入所利用申込状況

	自宅	病院	老人保健施設	グループホーム	その他施設	その他	計
要介護1							
要介護2					1		1
要介護3	15	4	2	4	3		28
要介護4	12	5	3	2	2		24
要介護5	3	4		1	1		9
合計	30	13	5	7	7		62

【性別】 男性； 27人、女性； 35人
【平均待ち期間】 1年 7カ月 (最長；12年 2カ月、最短；0年 1カ月)

令和5年度 千寿苑内部研修実績

月	研 修 名	実施場所	参加者数
4月	気持ちに沿った対応を行う為に (認知症の方への対応:ひもときシートを使って)	各階ディルーム	看介護職・ケアマネ
5月	心肺蘇生①(動画視聴)、回復体位(動画視聴)	各階ディルーム	看介護職
5月	食中毒予防について	各階ディルーム	看介護職・管理栄養士
5月	防災訓練:福祉避難所(机上・動画視聴)	各階ディルーム	看介護職・ケアマネ
6月	バーセルインデックス	各階ディルーム	看介護職・機能訓練指導員
6月	施設での事故の種類と発生時の対応	各階ディルーム	看介護職・生活相談員
7月	柔軟なコミュニケーション力について(職場の教養を基に、グループワーク)	各階ディルーム	看介護職
8月	食事のポジショニング(動画視聴)	各階ディルーム	看介護職
8月	災害時の初期対応(火事・地震) (防災機器の配置確認など)	各階ディルーム	看介護職
9月	誤嚥を発見～心肺蘇生について②	各階ディルーム	看介護職
9月	眠りスキヤンの操作方法など	各階ディルーム	看介護職
10月	身体拘束・虐待①(グループワーク)	地域交流ホール	全職員
10月	感染症の種類と特徴	各階ディルーム	看介護職
11月	感染症(ノロウイルス)発生時のシミュレーション	各階ディルーム	看介護職
12月	誤嚥を発見～心肺蘇生について③	各階ディルーム	看介護職
12月	褥瘡の基本について	各階ディルーム	看介護職
1月	看取りケア(動画視聴)	2階ディルーム	看介護職
2月	職員の倫理・プライバシー(動画視聴)	各階ディルーム	看介護職
3月	口腔衛生管理体制計画について	各階ディルーム	看介護職・ケアマネ
3月	身体拘束・虐待②(アンケートをもとに)	各階ディルーム	看介護職・ケアマネ

※研修日の研修内容をタブレットで撮影。

研修日に参加できなかった職員は、タブレットと資料にて実施

令和5年度 千寿苑外部研修実績

日 付	研 修 名	実施場所	参加者
6 月	5 類移行後の新型コロナ感染対策講習会	Zoom参加	1 人
6 月	社会福祉士基礎研修①	Zoom参加	1 人
10 月	主任介護支援専門員研修	Zoom参加	1 人
10 月	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会	愛知県	2 人
10 月	感染症予防研修	Zoom参加	3 人
10 月	身体拘束・虐待について	Zoom参加	2 人
3 月	被災者再建制度説明会	Zoom参加	1 人

令和5年度年間行事等事業実施報告

月	事業(行事)	地域交流	見学
4月	・花見 ・花見ドライブ ・ドライブ(外出支援)		
5月	・つつじドライブ ・外食(個別支援)		
6月	・飯川方面ドライブ ・紫陽花ドライブ		
7月	・畑見学 ・夏祭り ・ドライブ(外出支援)		・千寿苑周辺のゴミ拾い
8月	・里山里海ミュージアム見学 ・ドライブ(外出支援)		
9月	・敬老会(お茶会)		
10月	・せんじゅえん食堂 ・さつまいも掘り		・一本松公園清掃
11月	・紅葉ドライブ(永光寺)		・朝日小学校通学路掃除
12月	・バー寿		
1月	・初詣(苑内)		
2月	・豆まき		
3月	・ひな祭り		

Ⅱ 栄 養 課

令和5年度目標に対する自己評価

No. 1

部署 千寿苑栄養課

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<p>I. 筋力を落とさない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者様一人ひとりに合ったお食事を提供することで、必要栄養量を補給し、栄養状態を維持・改善する。 <p>1. 栄養アセスメントの実施と情報共有</p> <p>2. 摂食機能評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多職種で食事観察し、記録と情報共有する。必要な対応は速やかにおこなう。 い〜とみる®を活用し、摂食状態を把握、対応策を検討。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 食事が進まない方、誤嚥リスクがある方に対して、ご本人の意向をもとに、食形態の調整だけでなく、姿勢や食環境、生活習慣への配慮、運動などへの関わりを多職種がおこなうことで「食べる」につながる支援に努めた。 入所の取り組み（対象者 10名）について、1名は R6.1月からの体調不良で3月現在で絶食となったが、他9名は摂取量と栄養状態が維持できた。 い〜とみる®は回を重ねることで、前回までとの比較から課題が見えやすくなった。 	

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

令和5年度目標に対する自己評価

No. 2

部署 千寿苑栄養課

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<p>II. 認知症・障がいを持つ方への対応。</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しくおいしく食事していただき、QOLの向上につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 嗜好調査2回/年実施。 行事食、イベント食の提供。 クッキングの実施。 百寿祝い膳提供。(入所1名) 千寿苑菜園野菜の調理、提供。 差し入れに関する情報提供。 通所者へ適温提供への工夫。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 嗜好調査の結果、満足度は前年度と比較し、入所 93⇒92%、通所 96⇒95%で、ほぼ同等。イベント食はもちろん、普段のお食事でも季節を感じ、見た目・味ともにおいしいと思っただけできるよう努めた。 通所は温冷配膳車ではないため、できるだけ適温提供できるよう作業工程を見直している。 	食形態の研修は次年度実施予定。
<p>III. 利用者支援のための職員の資質向上と連携強化。</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事作りを通して、利用者様の健康状態や機能を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> 部署内研修実施。 6月 接遇マナー 7月 衛生的な手洗い 3月 備蓄食について 	B	<ul style="list-style-type: none"> 予定していた研修が一部(大量調理施設衛生管理マニュアルの理解、食形態について)できなかった。大量調理施設衛生管理マニュアルについては朝礼時および申し送りノートでその都度伝達、理解を深めるようにした。 研修会は数日間、短時間で行うことで全員負担なく参加できている。 	

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

令和5年度目標に対する自己評価

No. 3

部署 千寿苑栄養課

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
IV. 感染症や災害への対応力強化。 ・ 緊急時も安全に食事提供する。	・ 施設内研修への参加。 ・ 能登半島地震での対応。	A	・ 能登半島地震の際は、部署内および各部署との連携により、安全に食事提供できた。非常時でも温かく食べ慣れたものを提供できるよう、また、できるだけ栄養の偏りや不足がないよう補助食品も活用しながら徐々に品数、提供栄養量を増やしていった。	緊急時食事提供マニュアルの見直し。

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74)

令和5年度年間行事等事業報告書

部署名：栄養課

月	事業(行事)	地域交流	ボランティア・見学
4月	全部署：4/5 お花見ご膳（通所松花堂弁当） 通所：クッキング（桜もち）		
5月	入所：5/26 季節のお楽しみご膳（松花堂弁当） 通所：クッキング（牛乳かんイチゴソース） 5/25 季節のお楽しみご膳（松花堂弁当）		
6月	全部署：6/27 季節のお楽しみご膳 （入所松花堂弁当） 通所：クッキング（よもぎだんご）		
7月	全部署：7/27 夏祭り食 通所：クッキング（コーヒー水ようかん）		
8月	通所：クッキング（あんみつ） 8/30 夏祭り（おやつバイキング）		
9月	全部署：9/18 敬老ご膳 入所：9/29 敬老会（ねりきり） 通所：クッキング（おはぎ）		
10月	入所：10/13 クッキング（ふかし芋など） 10/24 せんじゅえん食堂 通所：クッキング（さつま芋とりんごの茶巾） 10/23 せんじゅ運動会（あんぱん）		
11月	全部署：11/22 薬膳料理 通所：クッキング（たこやき）		
12月	入所：12/8 バー寿（喫茶） 通所：クッキング（クリスマスケーキ）		
1月	入所：元旦 正月料理、1/26 百寿祝い 通所：クッキング⇒中止		
2月	全部署：2/3 節分料理（通所松花堂弁当） 通所：クッキング（さつまいもトリュフ）		
3月	全部署：3/3 ひなまつり（入所松花堂弁当） 通所：クッキング（ぼたもち）		

※暦上の行事食、イベント食は献立に準ずる。

令和5年度 事業所内研修実績

日付	研修名	実施場所	参加者数
R5. 4. 19	ひもときシート勉強会 (講師：達ケアマネ)	2階ダイルーム	鎌田裕子
R5. 5. 23 R5. 5. 25	食中毒について	2階・3階ダイルーム	鎌田裕子（講師）
R5. 6. 21	接遇マナー研修「対人援助を学ぶ」 (講師：北山施設長)	地域交流ホール	栄養課職員全員
R5. 7	衛生的な手洗いについて	栄養課	栄養課職員全員
R5. 10. 13	高齢者身体拘束虐待廃止委員会研修	地域交流ホール	鎌田裕子
R5. 11. 17	認知症について（講師：理事長先生）	デイケアセンターすこやか	鎌田裕子 三山智美 増田松枝 北橋朋子
R5. 11. 27	栄養アセスメント加算について	デイサービスせんじゅ	鎌田裕子

令和5年度 事業所外研修実績

日付	研修名	実施場所	参加者数
R5. 7. 17	高齢者が食べない理由はこれだ！ —食べる力の組み立て方と展開—	アーカイブセミナー	1名
R5. 10. 5	令和5年度 食品衛生責任者研修会	矢田郷地区 コミュニティセンター	1名
R5. 12	摂食嚥下コンサルタントナースが 伝えるアセスメントに役立つワン ポイント基礎知識	オンデマンド配信	1名

Ⅲ せんじゅ・なでしこ（デイサービス）

令和5年度目標に対する自己評価

部署 せんじゅ・なでしこ1

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
1 筋力を落とさない	<ul style="list-style-type: none"> 基本能力を測定、見える化し、訓練や運動に取り組む事で日常生活の改善を図る 握力測定・バーセルインデックス測定を行い、本人様・CMにフィードバックする 機能訓練・体操・ゆっくり座るなどの運動を行う 栄養課との情報共有 食事量、咽の有無、トロミ使用者等の記録、周知 ・食事摂取量低下時、体重の変化2kgの増減等があれば見える化して栄養課に報告、周知 	A	<ul style="list-style-type: none"> 握力測定をして、結果を表にしてご家族様・本人様にお渡しした。ケアマネにも計画書に記載して、おしらせしている。 入浴時・移乗時・口腔ケア時・レク時など、あらゆる機会ですしでも筋力をつけるような支援をしている 体重が2kg増減時に、食事量とともに見える化し、栄養課とケアマネに情報提供している。デイの職員すべてが把握できるよう、見える化している。 	本人様が意識して訓練に取り組めるよう、Lifeのフィードバックを活用する
2 認知症・障害を持つ方への対応	<ul style="list-style-type: none"> ユマニチュードによるケアの推進 見る・話す・触れる・立つの4つを継続 認知症や障害があっても穏やかに暮らせるように支える 状態変化等がある方に「ひもときシート」を実施しケアの統一。認知症の理解を深め、生活習慣や趣味・役割を尊重し、全員が対応できるようにする 	B	<ul style="list-style-type: none"> ユマニチュードの勉強会(6/5)を行い、全職員がDVDを見て学んだことを提出した ひもときシートを実施し、情報の共有・ケアの統一を行い、生活習慣や趣味を理解し、全員で対応している 	ひもときシートは作成に時間がかかるため、別のシートを検討

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

令和5年度目標に対する自己評価

部署 せんじゅ・なでしこ2

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
3 利用者支援のための職員の資質向上と連携を強化する	<p>研修に参加し、職員の資質向上を図り、学んだことを共有し、支援に活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修・勉強会に参加、伝達、効果判定 ・ 利用者ひとり一人に合った支援の為に職員が連携し、対応出来るようにする ・ ミーティング時に疑問点、気づき等を話し合う ・ 事例検討を行い、成果を職員にフィードバック <p>・ 感染症や災害への対応を強化 (伝言ダイヤル・避難訓練・感染症の勉強会)</p>	A	<p>6/5 ユマニチュード勉強会 6/17 院内感染対策講習会参加 6/26 認知症ケア研修参加 8/18 2024年同時改定からデイサービスの大改革が始まる 10/30 認知症・実地指導について 12/18 施設における感染症対策 12/25 認知症の方への介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帰りのミーティングで、利用者一人一人に合った支援の方法を話し合い、記録に残し、次回利用日の朝のミーティングで周知し、実践している。せんじゅ・なでしこ間でも早急に周知し合っている。 ・ 東海北陸ブロックで発表し、その好評や他の事例などを紹介している <p>・ 伝言ダイヤル・避難訓練に参加し、対応を強化している</p>	<p>学んだ内容を伝達し、効果判定につなげ、良くなったことをミーティングで話している</p> <p>B C P 訓練の実施</p>

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

令和5年度 通所介護内部研修等実績

日付	研修名等	場所	参加者数
6/5	ユマニチュードについて	デイルーム	全職員
10/12	身体拘束廃止勉強会	地域交流ホール	全職員
10/30	認知症・実地指導について	デイルーム	全職員
12/18	施設における感染症対策	デイルーム	全職員
12/25	認知症の方への介護技術	デイルーム	全職員

令和5年度 通所介護外部研修等実績

日付	研修名等	場所	参加者数
9/2～12/21	介護職員実務者研修実践者研修		1人
6/13～26	認知症ケア	Webセミナー	2人
10/13～26	認知症の方への介護技術	Webセミナー	2人
10/17～10/18	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会	名古屋市	2人
11/22	石川県デイサービスセンター協議会 第2回職員研修会	金沢市	2人

令和5年度年間行事等事業報告書 部署名：デイサービスセンターせんじゅ

月	事業(行事)	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ 桜湯		
5月	新緑ドライブ しょうぶ湯		
6月	あじさい湯	保育園児との交流会	
7月	初夏ドライブ 笹の葉湯	千寿苑夏祭り	
8月	せんじゅ・なでしこ夏祭り ひまわり湯		
9月	敬老会 りんどう湯	一本松奉仕作業	
10月	運動会 オリーブ湯	徳田祭り	
11月	紅葉ドライブ さざんか湯		
12月	ゆず湯		
1月	松湯		
2月	節分のつどい 梅湯		
3月	ひなまつりのつどい 菜の花湯		

令和5年度年間行事等事業報告書

部署名：デイサービスセンターなでしこ

月	事業(行事)	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ コンサート・見学会 桜湯		
5月	母の日カーネーションプレゼント しょうぶ湯		
6月	生け花 あじさい湯	老人会との交流会 (白馬敬老会)	
7月	初夏ドライブ 笹の葉湯	千寿苑夏祭り	
8月	なでしこ・せんじゅ夏祭り ひまわり湯		
9月	敬老会 りんどう湯	一本松奉仕作業	
10月	あさひ保育園児との交流会 オリーブ湯	徳田祭り	
11月	紅葉ドライブ さざんか湯	あさひ保育園児との 交流(臨床美術)	
12月	忘年会 ゆず湯		
1月	初詣 松湯		
2月	バレンタインコンサート 梅湯		
3月	ひな祭りの集い 菜の花湯		

IV やくしの里（グループホーム）

令和5年度目標に対する自己評価

No. 1

部署 グループホームやくしの里1

計画と方法・取組	1年間の具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
1. 筋力維持に努め、自分の足で歩行する	<ol style="list-style-type: none"> 1 毎日昼食前の嚙下体操にて嚙下機能の維持。3日に一度のゴムバンド体操、スクワット実施 2 下肢筋力低下予防 足あげ運動（ハードル歩行） 3 天気の良い日の坂道昇降運動 4 年間をとおしての畑仕事 じゃがいも、さつま芋 5 歩行速度、握力測定 (年間基礎能力測定) 	B	<ol style="list-style-type: none"> 1.2 ほぼ毎日実施できている。ハードル歩行時は利用者に応じた目標を持ち行われている。 3 気温が高く外出できない事もあった 4 じゃがいもは感染病にかかり小ぶりであったが収穫する喜びが見られた 5 4、7、11、R6/3月測定通してほぼ横ばいである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏の猛暑にて外に出られない日が多かった。代替えで実施する運動など事前に用意しておく。 ※屋内での階段昇降など
2. 認知症・障害を持つ人を受け止めその人らしさを尊重する	<ol style="list-style-type: none"> 1 ミーティング時に利用者一人一人の意見交換を行い情報共有と対応についての検討 2 コミュニケーションを取る様に心掛け思いを引き出す 3 日常生活を通して職員と共に行動する時間を持つ 4 認知症の勉強会実施 	B	<ol style="list-style-type: none"> 1 月1回ミーティング時に、利用者一人一人の意見交換にてケアの統一する様な心掛けはできている。 2 日1回は利用者と席に着き会話する様に心掛けていたが、帰宅願望の対応で出来ない日もあった。 3 職員と共にシーツ交換・自室掃除・洗濯物干し・ゴミ出し・茶碗拭きはできている。 4 認知症の勉強会10月に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の勉強会実施（10月） ・ 今後も利用者の認知症行動を情報共有しながら、個々が日々穏やかに過ごされるよう努めていく。

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

令和5年度 事業所内研修実績

日付	研修名	実施場所	参加者
4/28	感染対策について 感染経路日常予防	リビング	全員
5/31	身体拘束 スピーチロック	リビング	全員
7/31	感染について 手洗い基本マニュアル実施	リビング	全員
8/31	身体拘束による弊害は？	リビング	全員
10/30	認知症勉強会	リビング	全員
11/30	高齢者虐待とは	リビング	全員
1/29	感染症対策 手指衛生など	リビング	全員
2/29	身体拘束 心理的虐待を受けたと感じる具体例	リビング	全員

令和5年度 事業所外部研修等実績

日付	研修名	実施場所	参加人数
11/8	高齢者の急変に備えよう	矢田郷地区 コミュニティセンター	2人
11/22. 29	高齢者施設等職員向け手話講座	千寿苑	1人

令和5年度年間行事等事業報告書

部署名： グループホーム やくしの里

月	事業（行事）計画	地域交流	ボランティア・見学
4月	6日(木) 花見		誕生会 1名
5月	4日(木) デカ山見学 10日(水) 避難訓練 29. 30日 菖蒲湯	大泊朝市	誕生会 1名
6月	8日(木) 買い物	大泊朝市	誕生会 1名
7月	7日(金) 七夕まつり 12日(水) 災害訓練・断水 19日(水) ワックス	大泊朝市	
8月	2日(水) 流しそうめん 9日(水) 花火大会	大泊朝市	誕生会 1名
9月	15日(金) ランチ 23日(土)お彼岸おはぎ作り	大泊朝市	
10月	8日 災害訓練・停電 19日 ドライブ 25日 避難訓練	大泊朝市	
11月	15日 ワックス 22日 紅葉ドライブ	大泊朝市	
12月	22・23日 ゆず湯 24日(日) クリスマス会 31日(日)おせち作り・年越しそば		
1月	1日(月) おせち提供 1日～3日 正月遊び		誕生会 2名
2月	3日(土) 節分		誕生会 2名
3月	3日(日) ひな祭り 6日(水) ワックス 20日(水)お彼岸おはぎ作り	大泊朝市	誕生会 1名

V たかしなの里（小規模多機能型居宅介護施設）

令和5年度目標に対する自己評価

部署 小規模多機能型居宅介護施設たかしの里1

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
1. 筋力を落とさない。	<ul style="list-style-type: none"> 歩行速度測定、握力測定、筋力測定を年2回実施する 毎日のレクリエーションの提供、集団での歩行訓練、100歳体操を継続的に行う。 上記測定や訓練状況を参照しながらバーサルインデックスの評価を行い、Lifeへデータの入力・提出をする。 食事前の嚥下体操と会話や歌など話す機会を増やす。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 4月と10月に利用者全員の測定を実施。データの比較・分析によると大きな変化なく、維持できていることを確認した。これは、レクや100歳体操は継続していることが維持に寄与していると考え Lifeへのデータ入力未実施。次年度初めにシステム入力を行う予定。 職員がユマニチュードを意識し、かかわる時間を増やすことで会話量は増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 測定結果をLifeへの入力報告し、加算につなげる。 積極的にかかわる姿勢をより増やすよう職員の業務体制等の見直しを随時行う。 参加できそうな外部研修については、Webを含めできるだけ職員を派遣する。
2. 認知症、障害のある方に通常の生活が出来るよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に地域の会合や行事に出席し地域と連携が取れるよう取り組む。 利用者ひとり一人の趣味や性格を尊重し、ユマニチュードによるケアを実践する。またそのため必要な研修を定期的で開催する 	B B	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンターでの展示や高階まつりへの出店を実施。 毎月全員が参加できるよう4日間同一内容の研修会を開催し、年度初めに定めたテーマの勉強会を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度計画に沿って確実に勉強会を開催する。

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

令和5年度目標に対する自己評価

部署 小規模多機能型居宅介護施設たかしの里2

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
3 利用者支援のための職員の資質向上と連携を強化する	<ul style="list-style-type: none"> 基本理念のさらなる浸透をさせるため研修を定期的に行う。 記録の方法を見直し、段階的に手書きから徐々に記録システムへの入力にシフトすることによりデータ化する。 本人の思いを会話の中から聞き取り介護計画に反映させる。 外部研修への参加を計画し、研修で得た知識のエッセンスを職員で共有する 医療介護の専門知識の勉強会を計画・開催する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内勉強会を計画通りに実施し、全職員が受講。知識向上に繋げることができた。 記録については、5月から約3か月をかけ、手書きから記録システム「ほのぼの」へ完全移行し、データ化することができた。 認知症介護実践者研修に1名参加。研修で出された課題である事業所内の事例検討を職員全員で共有することで認知症介護への取り組み方を学ぶ機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内勉強会の継続。 参加可能な研修会があれば積極的に参加する

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

令和5年度目標に対する自己評価

部署 小規模多機能型居宅介護施設たかしの里3

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
4 感染症や災害への対応力強化。	<ul style="list-style-type: none"> ・ B C Pに基づく感染症対策としての勉強会の実施と必要備品の準備・リスト化を行う。 ・ 年2回の火災避難訓練の実施と地域との連携。 ・ 周辺地域での水害発生を想定した机上シミュレーション訓練を実施する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ B C Pの素案を9月に作成し、全員で検討したうえで、10月3日策定日とした計画を完成させた。 ・ 令和6年能登半島地震時にはB C Pを基に部分的に実行することができた。しかし、計画と実際では異なることが多く、見直しが必要であると考え 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験を基に早急に見直しするとともに、机上訓練やシミュレーションを実施する ・ 不足する物品を揃えていく。

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

令和5年度年間行事等事業実施報告

たかしなの里

月	事業（行事）	地域交流・ボランティア	見学対応・職員研修
4月	七尾の桜スポット巡り お誕生会	高階あおぞら市へ外出	
5月	青柏祭見物 お誕生会		
6月	菖蒲湯		
7月	お誕生会 七夕まつり シェイクアウトいしかわ（県民一斉防災訓練） 夜間想定避難訓練		田鶴浜高校健康福祉科介護実習
8月		高階まつり出店	田鶴浜高校健康福祉科介護実習
9月	敬老プレゼント おはぎ作り 足湯ドライブ		
10月	お誕生会 実地指導		
11月	日中想定避難訓練		
12月	ゆず湯 クリスマス会 お誕生会		
1月	安浄寺住職の法話		
2月	節分豆まき バレンタインチョコプレゼント お誕生会		
3月	ひな祭り お誕生会 パトリア 能登屋台村へ外出 (100体のひな人形展 観覧)		

令和5年度 事業所内研修実績

月日	研 修 名	実施場所	参加者数
4/17(月) 4/18(火) 4/19(水) 4/20(木)	法人理念について	たかしなの里 事務室	15名
5/22(月) 5/23(火) 5/24(水) 5/25(木)	接遇について	たかしなの里 事務室	15名
7/24(月) 7/25(火) 7/26(水)	認知症対応	たかしなの里 事務室	14名
8/21(月) 8/22(火) 8/24(木) 8/25(金)	身体拘束廃止	たかしなの里 事務室	12名
9/19(火) 9/20(水) 9/21(木) 9/22(金)	自然災害対応	たかしなの里 事務室	15名
10/23(月) 10/24(火) 10/26(木) 10/27(金)	ガウンテクニック	たかしなの里 事務室	15名
11/21(火) 11/22(水) 11/24(金)	感染症対策	たかしなの里 事務室	13名
12/12(火) 12/13(水) 12/14(木) 12/15(金)	認知症の薬の知識	たかしなの里 事務室	15名

令和5年度 事業所外研修実績

月日	研 修 名	実施場所	参加者数
6/7～6/9 6/22～6/23 8/24～8/25	認知症介護実践研修・実践者研修	県社会福祉会館 別館	1名
10/17	感染症予防研修会	WEB（ZOOM）を 使用したオンライン 研修	2名
11/29～ 11/30	認知症対応型サービス事業管理者研修	WEB（ZOOM）を 使用したオンライン 研修	1名
11/28～ 3/13	介護支援専門員再研修	WEB（ZOOM）を 使用したオンライン 研修	1名

